

2021年12月21日

各位

会社名 株式会社エスエルディー
 代表者名 代表取締役社長 有村 謙
 (コード：3223 東証 JASDAQ スタンダード)
 問合せ先 取締役経営管理本部本部長兼
 事業支援本部本部長CFO 鯛 剛 和
 (TEL. 03-6866-0245)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、2021年10月21日開催の取締役会にて「スタンダード市場」を選択し、申請書を提出いたしました。当社は移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており「流通株式時価総額」については、5.2億円と基準を充たしておりません。当社は、流通株式時価総額に関し、2025年2月期を目途に上場維持基準を充たすために各種取り組みを進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (移行基準日時点)	1,246人	8,265単位	5.2億円	52.9%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25%
計画書に記載の項目			○	

※ 当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等を基に算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

(1) 基本方針

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資する施策を迅速・果断に推進することにより、スタンダード市場上場維持基準への適合を目指してまいります。また、経営環境の変化に応じて柔軟に対応できる組織体制を整備するとともに、リスク管理体制の強化やコンプライアンスの徹底等を進め、経営と執行における透明性の確保に真摯に取り組むことにより、コーポレート・ガバナンスの一層の充実を図ってまいります。

(2) 課題及び取組み内容

(課題)

当社は、一定の株主数や流通株式数等を確保しながらも「流通株式時価総額」が基準に到達していないという結果を踏まえ、主要要素である「株価」が低迷している要因を、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い業績が悪化し債務超過に陥ったことによるものと考えており、企業価値向上に向けた各種施策を着実に進めていくことが重要であると判断しております。なお、当該債務超過の解消に向けての進捗状況については、各四半期決算のタイミングで開示を行っております。

(取組み内容)

① 過去PERに基づく予想理論株価及び流通株式時価総額

EPS		PER(※1)		理論株価
X 円	×	45.1 倍	=	Y 円
理論株価		流通株式数(※2)		流通株式時価総額
Y 円	×	8,265 単位	=	10 億円

(※1) JASDAQ (小売業) の 2020 年 1 月～2021 年 11 月における単純 PER 平均値

(※2) 流通株式数：8,265 単位 (移行基準日時点)

上場維持基準である流通株式時価総額 10 億円を目標とし、現在の流通株式数 8,265 単位をもとに理論株価：Y を算出すると Y=1,210 円となります。また、JASDAQ に属する小売業の PER 平均値は 45.1 倍であり、当該理論株価から EPS：X を算出いたしました。その結果、上場維持基準目標の EPS は、26.80 円となります。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、甚大な影響が出た当社事業であります。下記②のとおり、各種施策等を早期に進めることでの業績回復、また、更なる企業価値向上に向けて邁進し、計画期間における上場維持基準への到達を実現してまいります。

② 企業価値の向上と株価の安定化と向上

当社株式の流通性と時価総額の維持・向上を図るべく、個人株主及び機関投資家の皆様が、より積極的に当社株式を売買できるよう、株価の安定と向上に継続して取り組んでまいります。

当社は、「To Entertain People～より多くの人々を楽しませるために～」という企業理念のもと、「音楽」、「アート」、「食」等をはじめとする様々なカルチャーコンテンツを企画・融合させ、「楽しみに溢れた豊かなライフスタイルをより多くの人々に提案する」という、店舗の運営等を通じたカルチャーコンテンツ提供事業を行っており、具体的には飲食サービス及びコンテンツ企画サービスを展開しております。当社においては、以下のとおり両サービスにおいて営業利益を安定的かつ長期継続的に確保し、

また、早期に復配を実現することを目標としております。

(a) 飲食サービス

・直営飲食店（常設コラボカフェを除く）

WITH/AFTER コロナに対応すべく、業態変更を含むリブランディングの推進、他社との協業による集客、SNS マーケティングの徹底等を実施し、早期に収益力の回復を目指してまいります。

・常設コラボカフェ

IP コンテンツの著作権元やそれを取り扱っている代理店等の取引先数を増加させ、高収益性が見込まれるコラボカフェに関して積極的に出店を行ってまいります。

(b) コンテンツ企画サービス

・プロデュース

社内の営業及び管理体制を再整備し、プロデュース案件を積極的に受注することで、安定的な利益確保を目指してまいります。

・イベント

新型コロナウイルス感染症のまん延状況を見ながら、他社主催イベントに積極的に出店、また、EC 商品を活用した催事出店を積極的に行うことで、自社商品の認知度を向上させてまいります。

当社は、上記基本方針に基づく取り組みを実施し、その効果が 2023 年 2 月期以降に発現することで企業価値の向上・株価の安定化と向上を図るとともに、「1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間」に記載の年限を目途に数値目標を達成できるよう全従業員が全力を注いでまいります。また、IR 活動におきましては、2023 年 2 月期以降、機関投資家向け決算説明会の再開、個人投資家向け説明会等の積極参加、その他各種プラットフォームサービスの活用等により積極的に当社情報を発信し、当社への注目度が高まるように努めてまいります。

以上により、当社株式の流通株式時価総額につきまして、株式会社東京証券取引所の定める上場維持基準を上回ることにより、新市場区分である東京証券取引所スタンダード市場における上場を維持するように努力してまいります。

以 上